

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 8 月 10 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	理工学研究科・建築・都市学専攻・総合芸術系
留学(渡航)した時の学年	M2 年生
帰国年月日	2026 年 6 月 15 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	台湾
留学先大学	国立台湾大学 (日本語名) 國立台灣大學(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	中国語 /
留学期間	2026 年 2 月～2026 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	M1 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 台湾文学研究所 現地言語での名称: 台灣文學研究所 ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～1 月上旬 2 学期: 2 月下旬～6 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	人
創立年	1928 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (台湾ドル) (1 現地通貨 = 5.1 円)	B 日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	8900/月*4	円	学校の寮
食費	11750/月*4	円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	3900	円	
現地交通費	9400	円	(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	47000	円	
被服費	4700	円	
医療費		円	
保険費		64000 円	形態:
渡航旅費	23500	109890 円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(=147600 円)	173890 円	
総計(A+B) ※円		936610 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：東京 目的地：台北 経由地：

復路 出発地：台北 目的地：東京 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：星宇航空 料金：75555

復路 航空会社：厦門航空 料金：34335 ∴合計：109890

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：太子學舎) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

学校で抽選

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

個室の抽選が成功で、良かったです

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: 寮の近くの病院)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

最初の 2 週間はルーターが無いため、Wi-Fi 使用不可でした。学校の図書館に行った。その他は順調。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

中国の銀聯カードでさえあれば、どこの ATM でもすぐ現金取れますので、便利です。現地のカードを申し込むことはいいです。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

ないです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	☒ 6 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
台湾記録片研究	台湾ドキュメンタリー研究
科目設置学部・研究科	台湾文学研究所
履修期間	114 年度第二学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ・講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 160 分が 16 回
担当教授	謝欣苓
授業内容	本課程では、ドキュメンタリーの理論・研究方法・ジャンルおよび関連する諸問題について学び、ドキュメンタリー作品の鑑賞・分析や学術論文の講読を通して、ドキュメンタリー研究の方法を習得した。また、台湾のニュー・ドキュメンタリーの黎明期から現在に至るまでの発展過程を理解し、台湾ドキュメンタリーにおける主要なテーマや、異なるジャンルの代表的な作品について考察した。
試験・課題等	課題論文 12000 字程度
感想を自由記入	この授業を通して、台湾のドキュメンタリー作品を鑑賞するだけでなく、その背景にある歴史や社会問題、制作者の視点について考えることができた。特に、台湾社会の変化とドキュメンタリーの発展との関係について学んだことで、作品をより多角的に捉えられるようになった。また、実際の作品や研究論文を用いて分析する機会が多く、日本で学んできた文学や映像研究とは異なる視点や研究方法に触れることができ、今後の研究にも活かせる貴重な経験となった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
台湾文学研究作家専題:佐藤春夫		台湾文学作家研究・佐藤春夫	
科目設置学部・研究科	台湾文学研究所		
履修期間	114 年度第二学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ゼミ・講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 160 分が 16 回		
担当教授	張文薫		
授業内容	本授業では、佐藤春夫の文学作品と文化的実践を中心に、翻訳者、文学賞の審査員、異文化間の創作者など、多面的な顔を持つ佐藤春夫の活動を通して、日本近代文学と台湾文学の関係について考察した。特に、1920 年代から 2020 年代までの佐藤春夫とその作品の受容や文化的位置づけに注目し、作品の精読、台湾に関連する著作(いわゆる「台湾物」)の分析、翻訳実践などを行った。また、AI などのデジタルツールを活用し、日本語文献の読解や要約、文学作品の内容を異なるメディアに適した形へ翻案する実践にも取り組んだ。これらを通して、日本近代文学に対する理解を深めるとともに、文学研究における翻訳、メディア、現代的なデジタル技術の活用について学んだ。		
試験・課題等	課題論文 10000 字程度		
感想を自由記入	この授業を通して、佐藤春夫の作品だけでなく、日本近代文学と台湾との文化的・歴史的な関係について理解を深めることができた。特に、同じ作品であっても、時代や地域、翻訳の方法によってその受け取られ方が変化することが興味深かった。また、台湾文学を研究する立場から日本文学を捉え直すことで、日本と台湾の文学・文化交流について新たな視点を獲得することができた。さらに、AI などのデジタルツールを文学研究に活用する実践を通して、現代の研究における新しい方法について考える機会にもなった。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

cfn

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

出来るだけ早めに始めること。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	出願・面接
	8月～9月	
	10月～12月	書類準備・ビザの申し込み・航空券の購入・保険購入
留学開始年	1月～3月	履修登録・出発
	4月～7月	論文・発表準備
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

台湾への留学を考えている学生には、現地でしか得られない経験を大切にしてほしいと思います。私は中国語を母語としていますが、実際に台湾で生活し、大学の授業を受ける中で、台湾独自の言葉の使い方や文化、大学の学習環境など、これまで知らなかったことを多く学びました。特に、授業では日本とは異なる発表やディスカッションの形式を経験することができ、現地の学生と交流することで、台湾の社会や文化をより身近に理解することができました。留学前に基本的な情報を調べておくことも大切ですが、実際に現地で生活し、自分からさまざまなことに触れてみることをおすすめします。